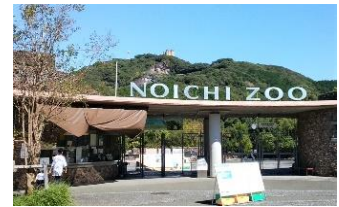


訪ねてみました。

公文敏雄(35回) 2020.11.13



もう一つの日本一 森の中の「のいち動物公園」

今年8月、世界最大級の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」による全国動物園・水族館人気ランキングで、県立のいち動物公園（香南市）が2年連続日本一に選ばれたことがわかりました。都会から離れた森の中の動物公園が、旭山動物園や沖縄美ら海水族館など名だたる人気施設を押さえて堂々の1位。その秘密は何でしょう？ 百聞は一見に如かず、秋晴れの土曜日に訪ねてみました。

入ってすぐの場所に、お客様の口コミがパネルで掲示されていました。「広い敷地、自然に近い環境で動物たちが活動」、「清掃が行き届いている」、「からくり時計や遊具に子供が夢中」、「夜の動物園など企画展がいい」、「コスパが良い（入園料は大人460円、18歳未満無料、レストランは美味しくて値段が手ごろ、ソフトクリーム250円・・・）」。ナルホドと納得しました。



アフリカゾーンにて



「あっ、あそこ！おいでおいで」



ロバたちはランチタイムでした

聞けば、「脱柵(さく)・脱コンクリート」が当園のモットー。恵まれた環境の中でのびのびと過ごす動物たちを目前に観ることができます。近寄って触ったり、ロバにまたがったり、遊具とベンチが点在する原っぱ（ピクニック広場）で駆け回ったり…子供たちがワクワクする仕掛けがいっぱい。家族連れのリピーターが多いのもうなずけます。若者たちも目立ちます。童心に帰ることができる格好のデート場所かもしれません。



広場で子供が遊び親は休憩



人気のふわふわドーム
(やわらかいトランポリン)



「おとぎの森」のからくり時計

テレビ報道などでご存じかもしれませんが、今夏はお目出度が相次ぎました。7月にマンドリル（尾長ざるの仲間）とアシカ、8月は日本でここにしかないセネガルショウノガン、9月はナマケモノなど。人間界の少子化どこ吹く風です。

イギリスの動物学者デズモンド・モリスは、「(檻の中ではなく)自然な生息環境のもとでは、動物たちは自らを傷つけたり、自分のこどもを攻撃したり、胃潰瘍になったり、自殺するようなことをしない。…都市の中に住む人間の間では、こうしたことのすべてが見られる。」と指摘しました(『人間動物園』新潮選書)。自然豊かな環境があってこそ、ヒトも含め動物たちが安らぎを感じます。安心して子を産み育てることもできるというわけです。森の中の「のいち動物公園」はそれを証明しているのではないのでしょうか？ (写真は筆者撮影)